

令和7年度



園だより 7月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

○もりもりそだつげんきなからだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるころとあたま

大切な人と自分を守るために

主任教諭 中村 咲希

先日『区立私立保育共同研修』に参加し、防災教育・防災対策について学んできました。

【問題】 まず、あなたにとって大切な2人を思い浮かべてください。
目の前には、あなたのとても大切なAさんとBさんが倒れています。
あなたはどちらか一人しか助けられません。どちらを助けるか30秒で決めてください。】

研修会の始まりに、このような究極の問題が出されました。私は「30秒でどちらかを選ぶなんて、そんなこと難しい…決められない」と考えていました。この「決められない」という答えは不正解でした。『どちらを助けるか決めることができた』『一人で二人を助けることができないと判断して他者に助けを求めようと思った』など、瞬時に判断できることが緊急時や災害時には大切だということです。

時間・場所・危険なことはその時々で違いますが、限られた時間内で状況を把握して、判断をするところ、緊急時や災害対応の大切なことだと学びました。

また、災害対応の絶対的ルールは「自分自身の安全が最優先」。6月6日の引取り訓練では、保護者の皆様にも服装や持ち物のご協力をいただきました。子どもたちの安全を守るために、私たち大人がいかに安全に行動できるか、自分の身を守ることができるかということが大切です。

災害時の訓練は避難訓練だけでなく毎日の生活で身に付けていくことができます。

●お子さんの姿を思い浮かべてください。

- ・人の話を静かに最後まで聞くことができますか？
- ・名前を呼ばれたら、元気に大きな声で返事ができますか？



●大人の姿を思い浮かべてください。

- ・子どもに最後まで話を聞かせることができますか？
- ・子どもたちの名前を呼びながら、表情の確認ができていますか？



日頃から家庭や園生活で、きちんと話を聞くこと、しっかりと返事をする事ができる子どもを育てていくことは、災害時や緊急時に自分と大切な人の命と安全を守ることにつながります。

災害はいつ起きるかわかりません。暑くなると熱中症の危険も高まります。水遊びやプール遊びは常に危険と隣り合わせです。ぜひ、ご家庭でも災害時や安全のための準備をしてみましょう😊

今年度は6月3日に杉並消防署をお迎えして、AEDの使用方法について職員研修を行いました。

【7月の保育】



年少うさぎ組

年長組のわくわくランドに参加して、とても楽しい気持ちを味わったうさぎ組の子どもたち。自分たちでも「うさぎぐみランドしよう！」と、画用紙でザリガニやタコを作ったり、空き箱で車を作って走らせたりして遊びました。今月も「やってみたい！」という思いを受け止めながら、繰り返し遊ぶ楽しさを味わうことができるようにしていきます。

これから暑くなってきます。水や泥、絵の具などいろいろな素材に触れて、感触を味わったり、全身で大胆に遊んだりすることを楽しみます。また水遊びを通して夏らしさを感じたり、七夕飾りの製作を通して伝統的な文化に触れたりし、季節を感じられる遊びも大切にしていきます。

年中くま組

お世話をしてきたカブトムシの羽化をきっかけに、虫づくりに夢中の子どもたち。虫バトル（とんとんずもう）をしたり、ごっこ遊びをしたりとつくったものを使って遊ぶことを楽しんでいきます。友達への関心も広がり始め、「友達とこうしたい！」「友達にこうしてほしい！」という思いを言葉や動き、表情で一生懸命に伝えています。気持ちを表そうとする姿を受け止め、相手に分かる言葉にして返したり、関わりたい友達とのやり取りや触れ合いを楽しめるようにしたりしていきます。

七夕の由来を知り、伝統行事に親しめるようにしていきます。七夕飾りの製作では願いを込めて丁寧に作り上げたり、飾った時の色合いや風に揺れる様子の美しさを感じたりできるようにします。

暑い日にはプール・水遊びをします。子どもたち自身も安全に気を付けられるようにし、水にたっぷりと触れる気持ちよさ、水の中で動いたり浮いたりする感覚の面白さを味わえるようにします。

年長ぞう組

わくわくランドでは、グループごとに遊びに必要なものを作り、友達と一緒に遊びを進めていく楽しさを味わいました。そう組みんなで大きなめあてに向かって取り組んでいることが分かり、自分たちの力でやり遂げた満足感を味わうことができました。

水遊び、プール遊びも始まりました。水の冷たさや心地よさを感じて水に親しんだり、自分なりのめあてをもって取り組んだりできるように支えていきます。また、みんなで安全に遊ぶための約束を守ったり、身支度を自分で進めたりすることなども丁寧に指導していきます。

七夕に向けての製作では、はさみやのりを使って丁寧に作る、できあがりを考えながら作るなど、デザインや作り方を工夫する経験も取り入れていきます。

